

件名

芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業について

(仮称) 公園案内棟/喫茶/工房・アート体験棟について協議する場を求める請願

請願項目

1. 町田市主催で協議会等、話し合いの場を設けてください。
2. 具体的には
 - ① 興味のある人なら誰でも参加可能
 - ② 対話の積み重ねと施設内容への反映ができる定期開催の協議会
 - ③ 協議会の際は専門家（設計者含む）、ファシリテーターも同席
 - ④ 決定プロセスがいつでも確認できるように議事録は公開

上記①～④を満たす協議会の設置を要望します。

請願主旨

「公共施設は誰のためのものなのか？」

バブル崩壊後2000年の地方分権改革を背景に、各地で都市づくりにおけるエンドユーザーの声を聞きながら進める「対話型の市民参画」が増えています。

「町田市公共施設再編計画(2018年6月) (176頁参照)」の推進体制の中でも、「市民参画・市民協働」「市民との共通理解」を得ることの大切さが謳われています。

芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業は「町田市公共施設再編計画(2018年6月)」のひとつであり、約45億円以上という多額の事業です。

その事業のうち「(仮称) 公園案内棟/喫茶/版画工房/アート・体験棟等」の整備説明会が町田市主催で2023年5月18日、21日に開催されました。この施設の整備スケジュール(2022年5月開催の説明会資料参照)をみると、基本実施設計(一般に「基本計画・基本設計・実施設計」の3つに分けられる)の期間が2022年7月～2024年3月となっており、今回の説明会時点では1年近くが経過し、今後は実施設計の段階に入るスケジュールにあると予想されます。

ところでこの間、市民への対応は次の2回に限られました。①2022年6月15日～7月14日に町田市が実施した本施設の基本計画に対する意見募集、そして②今回の2023年5月の説明会です。①では本請願と同様、「市民が参画できる協議の場を設けるように」と私どもは要望を出しましたが、実施されておりません。そして今回の②も、説明・話し合い不足を懸念した説明会参加者から本施設について話し合う機会の有無について、質問や意見がありましたが、回答はありませんでした(市から「すでに工房利用者と話し合った」との報告について、工房利用者からは「話し合いになっていなかった」とのことでした)。

町田市は2022年3月文教社会常任委員会の付帯決議でも示された相互の理解・対話の必要性を無視し、本施設についても話し合いなきまま計画を進めようとしています。基本計画・基本設計時に市民の声が届かなければ、施設内容に反映できません(基本計画・設計:建物(施設)に対する考え方や諸条件を整理する大切な工程。実施設計:基本設計を基に工事施工に向けて詳細な設計、整理等を行う工程)。

説明会配布資料にもありますが「芹ヶ谷公園の魅力さをさらに向上」「人々が集い憩う交流する」場にするには、運営側だけではなく、来訪する市民・地域住民・施設利用者の声が大切です。そしてその声を丁寧に拾うためには市民・地域住民・関係諸団体等とともに十分に話し合う市民参画の場が必要です。

市民・地域住民・関係諸団体等が参加できる「対話の場」を設定して、実りある取り組みを進めてください。